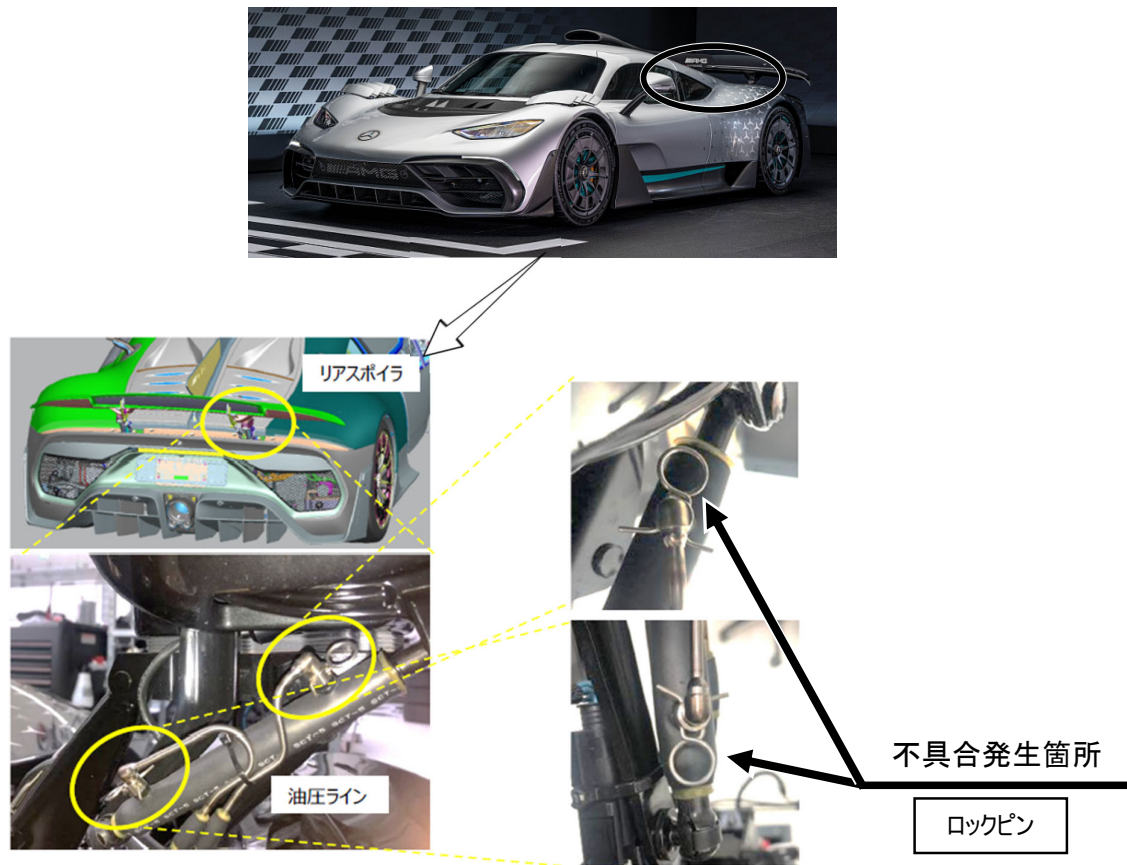


改善箇所説明図



注： は、装着状態を点検する部位を示す。

リアスポイラ用の油圧ラインにおいて、製造工程が不適切なため、ロックピンが適切に装着されていない。そのため、走行の振動等によりロックピンが抜けることで、油圧ラインが外れてオイル漏れが発生し、オイルが排気管等に付着することにより、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、リアスポイラの油圧ラインのロックピンの装着状態を点検する。適切に装着されていない場合は、ロックピンを適切に装着しなおす。

識別：車台番号の付近に黄色の識別ペイントを塗布する